

立会・南川岸

津波避難訓練

区民2000人が参加

「災害は忘れた頃にやってくる」、と言われていきます。東海地震や南関東地震が心配されている中、地震・津波に対する防災意識を深め、いざという時に適切な行動がとれるようにと、「防災の日」の9月1日、町・消防署・消防団・地区防災会が一体となって、駿河湾沖地震を想定して津波避難訓練と火災防

御訓練を行いました。
津波避難訓練は、立会と南川



早朝から避難訓練をする立会の皆さん

岸の両地区で2000人の区民が参加しました。午前5時30分に

「震度4」の大きな地震が発生し、沿岸部は津波のおそれがあるという想定です。

町では、直ちに災害対策本部を設け、消防署・消防団と緊急配備体制を引き、本部長である町長の指示で行動を開始しました。地区の皆さんは、津波警報

が発令されると、消防車のサイレンの鳴る中、地区防災会の役員さんや町職員の誘導で、13号排水路近くの避難所までそれぞれ避難しました。中には子ども連れやお年寄りもおり、担架・救急箱を持つ人などさまざまでした。

訓練とはいえ、海岸に接する両区民は、真剣な表情で取り組みました。

一方、火災防御訓練は、横芝中学校と大総小学校を会場として行われ、地元消防団は消防署の指導で実践しながらの訓練を繰り返しました。

85歳以上の長寿者へ 町長がお祝い…

「敬老の日」をお祝いして、町から70歳以上の方に、県から80歳以上の方に記念品などが贈られました。

佐瀬町長は85歳以上174人の長寿者を訪れ、「健康に注意されて長生きしてください」と、ねぎらいの言葉を述べ、記念品と祝金を手渡しました。また、坂田池畔の老人ホームを訪れ、記念品と祝金を贈り、長寿を祝いました。



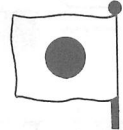
記念品を受ける布施さん

敬老会

林家しゅう平など有名人が出演

浪曲界の大物新人

太田英夫にも期待を



10月15日に横芝中学校体育館で第32回町敬老会を開催します。式典終了後のアトラクションに、今年は、有名芸能人による落語・漫才・歌謡曲・浪曲等が披露されます。

出演者は、テレビなどでおなじみの林家しゅう平(落語)・林家ペーパー(漫才)・北沢麻衣(歌謡曲)・太田英夫(浪曲)など、一流どころを揃えましたので、ぜひお楽しみください。



菊花の咲く日を楽しみに

横芝地区No.1の布施明治さん(栗山)

まもなく96歳の誕生日を迎えられる栗山の布施さん、足のケがで通院しているほかは、どこといて悪いところは無く、すこぶる元気です。

3年前、苦業を共にしてきた妻友さん91歳を亡くし、今は1人暮らしですが、食事作り以外の身のまわりのことは自分でするそう、近くに住む孫たちから「小柄なやさしいおじいちゃ

浪曲の太田英夫については、主催者の1人である社会福祉協議会長の杉森才二さんは、「1月の歌舞伎座の東西合同記念豪華顔見世浪曲大会では、二葉百合子や東家浦太郎など超一流を向こうにまわし、新人ながら堂々の熱演に、観客は私も含めて大いに感動させられました」と述べております。

そこで、その素晴らしいのを、ぜひお年寄りの皆さんにもお聞かせしたいと、無理にお願ひしてきたものです。

「と慕われています。朝は夜明けとともに起き、夜は8時に就寝する規則正しい毎日を送り、食事は朝がパン食、昼夜は和食で、牛乳と味噌汁・野菜類は必ず取ります。好物はウナギのかば焼だそうです。今、鉢植えの菊を丹精に育てている最中で、大輪の花が咲く日を心待ちにしている昨今です。